

平成 20 年 6 月 23 日（月）第二回一流塾を開催しました。

2 回目を迎えた一流塾では、堀新太郎氏（ベインキャピタル・ジャパン会長、元ベイン・アンド・カンパニー日本代表、現名誉顧問）、木村皓一氏（㈱ミキハウス代表取締役社長）を講師にお招きし、堀氏からは、『オーナー経営特有の課題とその解決の為のマネジメントサービスーグローバルな視点からー』、木村氏からは『熱意ある経営ーなくなつては困る、といわれる会社からー』、と題する講義を伺いました。

オーナー経営に関する課題は、塾生である起業家や二世経営者にとっての重大な関心事であると同時に、お二人の講師ならではの識見や示唆に富んだ講義内容に、塾生は皆、真剣に聞き入っていました。堀氏は、企業のガバナンスの変化（株主、オーナー、経営者の役割）、オーナー企業の課題とプライベートエクイティファンドの活用の可能性等を中心に、木村氏は自らの歩んできた人生とミキハウスのオーナー経営者としての経営哲学を重ね合わせながらお話をされました。両者に共通するのは、人材の重要性でした。講義後の質疑も、人を活かす経営、所有と経営の問題、コア能力の維持発展や差別化等の諸論点について活発に行われました。

懇親会のゲストには、小池百合子元防衛大臣をお迎えし、卓話を伺いました。その後、講師、塾生を交えた本音の意見交換を行いました。2 回目を迎え、塾生同士の絆も徐々に深まりつつあります。参加者からは、「次回も楽しみだ」との声が出ていました。